ecology clean fiber

環境報告書 2016

Omikenshi Environmental Report

オーミケンシ株式会社

第13回 JAPAN YARN FAIR
2016年2月24日～26日
於： 一宮市総合体育館

エコプロダクツ 2015
2015年12月10日～12日
於：東京ビッグサイト

― もくじ ―

ごあいさつ	1
環境経営	
環境理念 ／ 基本方針	2
行動指針 ／ 環境マネジメント	3
中期プログラムとその推進	4
環境対応製品開発と活動経過	4～5
環境保全活動	
環境負荷	6
エネルギー使用量 ＜電 気＞	7
エネルギー使用量 ＜燃 料＞	8
エネルギー使用量 ＜ 水 ＞	9
グリーン調達 ／ 教育活動･資格取得	10
地球温暖化対策	
GHG排出量 ／ 工場安全大会	11
ゼロエミッション ／ 太陽光発電	12
PRTR／ 大気･水質／ PCB関連	13
エコ･プロダクツの推進	
環境配慮型製品	14
「0304」オーミケンシ･レーヨンの日	15
リサイクル･バイオマス新素材	16
会社概要	17

園芸事業の拡充
2016年「0304展示会」より
（オーミケンシ･レーヨンの日）

【報告対象期間】
原則として、2015年4月1日から2016年3月31日までの活動を報告していますが、それ以前や直近の活動報告も含んでいます。

ご あ い さ つ

オーミケンシ株式会社
代表取締役社長
乙 村　誠
Otomura　Makoto

2015年11月30日から12月13日にフランス・パリで開催された「第21回国連気候変動枠組み条約締約国会議（ＣＯＰ21）において、すべての加盟国が自主的に温室効果ガス排出削減目標を作成の上、国連に提出し、5年ごとの見直しを義務づけた「パリ協定」を採択しました。法的拘束力を持つ本協定では、産業革命前からの気温上昇を２℃未満に抑えるべく、各国それぞれの取組みを促しています。

さらには、これらの取組みを検証すべく、実施状況の報告を義務付け、それらを世界全体で検証する“グローバルストックテイク”の仕組みも用意されました。会議での最大の争点であった資金援助については、先進国が引き続き資金を提供する事と並んで、途上国も自主的に資金を提供する旨、確認されました。日本政府も、新たな枠組みは全ての国が参加する公平かつ実効的なものであるべきとの主張を発信し、合意取りまとめに貢献しました。

これら世界的環境対策が進められている情勢の中、当社は、再生繊維レーヨンを「エコロジー・クリーン・ファイバー（ＥＣＦ）」と位置づけ、環境に配慮した機能レーヨンを様々に開発して参りました。

そして明年、当社はお陰様を以て創立100周年を迎えます。
これまで培って参りましたレーヨン・セルロース技術を元に、食べる事の出来る繊維　“可食セルロース”（商品名「ぷるんちゃん」)などの新しい分野にも今後注力して参ります。
グローバルな視野と確かな技術力で、人と地球にやさしい環境とゆとりのある生活を演出する企業を目指して参ります。

本年も、３月４日 『オーミケンシ・レーヨンの日』（03はオーミ、04はレーヨン） に大阪にて展示会を開催し、当社の非繊維事業を中心にご紹介させて頂きました。いずれも基軸である繊維事業から多角化させた由緒ある事業であり、当社なりの環境理念である「やさしさの先にある未来」をご覧頂きました。

本報告書では　『2015年度の環境経営活動と取組み状況』をご報告致します。弊社の環境活動への取組み姿勢や次世代環境製品の一端をご理解頂き、今後ともご指導、ご支援を賜れば幸いに存じます。

2016年　9月

【環境経営】

〈環境理念・経営目標〉

人と地球と暮らしへの優しさを追求

環境配慮型の事業構造を構築し、環境を守る企業としての存在感を創ります

世界において存在感のある素材メーカーとしての地位を確立し,その素材を生かしたテキスタイル・製品展開により心のゆとりと豊かさを提案します

収益性と企業価値の向上

〈環境基本方針〉

技術開発

オーミケンシ・グループの総力を結集し、人と地球環境にやさしい技術開発に取り組み、環境対策を進めます。

環境保全

製品の設計・製造・販売・回収・廃棄に至るすべてのプロセスにおいて、環境に及ぼす影響を予測し、評価し、低減し環境保全に努めます。

社会貢献

事業活動を通じてのみならず、地域社会の一員としても社会や地域の環境保護活動に積極的に参画します。

〈環境行動指針〉

- 人と環境に優しい商品の開発・製造と提供に努めます。
- 省エネルギーの推進で、地球温暖化防止に努めます。
- 3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進を図ります。
- 国、自治体等の環境規則を守り、自主管理基準の設定・維持・検証に努めます。
- 社員一人ひとりの環境意識の高揚と環境教育の推進を図ります。

〈環境マネジメント体制〉

☆この組織は、事故・災害時は勿論、日常の環境保全活動に至るまでの組織体制を示します。

【環境経営】

☆ ☆ ☆ 中期プログラムとその進捗 ☆ ☆ ☆

＜重点課題＞	＜中期計画目標＞	＜継続的取り組み状況＞
1. 環境マネジメント システム構築 （EMS）	*統合的な管理・監査体制の構築 ・環境監査の実施 ・リスクマネジメントシステム導入 ・従業員教育の充実	・環境経営対策室設置(2002/9～) ・環境経営度調査実施(2003～) ・環境対策グループ創設(2005/7～) ・新入社員教育実施　（環境報告書　他にて）
2. エネルギー対策	・エネルギー原単位の向上 ・CO_2 削減目標の達成（総量） ・ボイラー設備及び燃料の見直し	・省エネルギーの見直し （電気・油・蒸気など目標管理の導入） ・ボイラー設備更新と燃料見直し（RPFの混合使用）
3. 産業廃棄物低減	*産業廃棄物処理費の低減 （ゼロエミッションの実現） *排出依頼業者の現地調査強化	・発生源見直し（Reduce）　／　排出物の再利用（Reuse） ・廃棄物の有価販売促進(Recycle) ・廃棄物の一時保管場整備（加古川） ・廃棄物処理業者の実態把握と依頼先実態調査(毎年)
4. 化学物質管理強化	*PRTR法遵守 ・対象物質の削減 ・化学物質管理データベース構築	・正確な実態把握と推移追跡 ・PCBの安全管理と最終処分対策　（JESCO申請は2016年までに） ・基準値管理と目標管理の確立
5. グリーン購入・調達	*グリーン購入・調達の実施	・購入品の選定と購入先の研究 ・グリーン購入対象製品の企画販売
6. エコビジネス推進	*エコビジネスの拡大 ・新規商品の開発 ・新規商品の販売拡大	・環境関連商品の立ち上げ（Recycle） ・エコビジネス推進
7. 環境情報開示	*環境報告書の継続的発行 *教育・啓蒙活動の実施	・環境報告書の作成　（2003年より毎年発行へ）

▼ ▼ ▼ 環境対応製品開発と活動経過 ▼ ▼ ▼

オーミケンシグループの”環境配慮設計”に基づく商品開発と、環境保全活動の経過は以下の通りです。

年	月	＜オーミケンシ＞ 環境配慮型開発繊維	＜日　本＞ 法令・規制	＜世　界＞ COP　他
1995	9	クラビオン発売		COP1（ベルリン）気候変動枠組条約締約国会議
1997	3 10	①兵庫県エコビジネス振興賞受賞 ②通商産業大臣賞受賞 （リサイクル推進功労者等） クラビオンで表彰	・容器包装リサイクル法施行 （ﾋﾞﾝ、PETﾎﾞﾄﾙ　'97/4～） （ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ容器、包装等は　'00/4～）	COP3　地球温暖化防止京都会議(京都議定書) （125カ国が批准/2005年2月16日発効）
1999	7		・化学物質排出管理促進法（PRTR法）公布	COP5(ﾎﾞﾝ)
2000	4 12	・ISO　9001取得　（大垣EP事業部） 紀州備長炭繊維発売	・ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類対策特別措置法施行（'00/1） ・循環型社会形成推進基本法公布（'00/6）	COP6(ﾊｰｸﾞ)
2001			・家電ﾘｻｲｸﾙ法、ｸﾞﾘｰﾝ購入法施行（'01/4） ・PCB特別措置法施行（'01/7）	COP7(ﾏﾗｹｼｭ)
2002	1 7 9 11 12	パボリス発売 サンダイヤ発売 ・＜環境経営対策室設置＞ ・産業廃棄物処分状況調査開始 ・2001年度環境経営度調査開始	・土壌汚染対策法公布（　'02/5） ・建築基準法改正施行（'02/12） ：シックハウス対策	COP8（ﾆｭｰﾃﾞﾘｰ） ・地球環境サミット（ﾖﾊﾈｽﾌﾞﾙｸﾞ）
2003	1～3 4 9 12	・産廃業者訪問調査 ・2002年度環境経営度調査（以降、実施を定期化） ・「環境報告書」(2003年版）初版発刊	・土壌汚染対策法施行（'03/2） ・改正省エネ法施行　（'03/4） ・改正リサイクル法施行（'03/10） ・東京都環境確保条例（'03/10）	COP9（ﾐﾗﾉ）
2004	6 7 9	・2003年度環境経営度調査 97．6°F（華氏976）発売 ・「環境報告書」(2004年版）発行	※PCB廃棄物処理事業スタート（2004/12） （日本環境安全事業㈱が北九州から） ※'05年＝愛知・東京'06年＝大阪・北海道	COP10（アルゼンチン/ﾌﾞｴﾉｽｱｲﾚｽ）
2005	1～ 6 10	・産廃業者訪問調査 ・2004年度環境経営度調査 ・「環境報告書」(2005年版）発行	・自動車リサイクル法施行（'05/1） ※愛地球博（'05/3～9） ・地球温暖化防止国民運動（'05/6～）	・京都議定書発効（2005/ 2） COP11（カナダ/ﾓﾝﾄﾘｵｰﾙ）
2006	5 6 10 11	HOPE－FR発売 NEXT－FR発売 ・2005年度環境経営度調査 ・「環境報告書」(2006年版）発行 リフレール発売	・アスベスト新法施行 ・改正省エネ法施行（'06/4）	・（EU）　RoHS　指令スタート （特定有害6物質使用制限） COP12（ケニア/ﾅｲﾛﾋﾞ）

年	月	＜オーミケンシ＞ 環境配慮型機能繊維	＜日　本＞ 法令・規制	＜世　界＞ COP　他
2007	4	水解レーヨン発売	・PRTR法：対象物質見直し	(EU)　REACH規制　発効
	6	・2006年度環境経営度調査		・中国版　RoHS指令スタート
	10	・「環境報告書」(2007年版)発行		COP13(インドネシア/ﾊﾞﾘ島)
2008	3	・【ECO-TEXSTYLE展開催】(大阪・東京)	・工場立地法改正：工場立地敷地面積見直し	・京都議定書第1約束期間開始('08～'12)
		ケナフレーヨン発表	・化学物質排出管理促進法(PRTR法)改正	・洞爺湖サミット
	4	プラチナレーヨン発売	・省エネ法・地球温暖化対策推進法　改正	・北京オリンピック
	6	・「サミット記念環境総合展」に出展	・生物多様性基本法施行＜6月＞	COP14(ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ/ポズナン)
		・2007年度環境経営度調査		
	10	・「台北テキスタイルフェア(TITAS)」及び		・(EU)REACH規制～運用開始
		「インターテキスタイル上海」に出展		
		・「環境報告書」(2008年版)発行		
	12	※クラビオン⇒日本アトピー協会推薦商品の認証取得		
		※シェルーナ・パポリス・97．6°F・リフレール(4種)		
		⇒エコテックス・スタンダード100の認証取得		
2009	5	※サンダイヤ⇒抗インフルエンザ繊維認証取得	※生物多様性企業活動ガイドライン	COP15(デンマーク/ｺﾍﾟﾝﾊｰｹﾞﾝ)
		(日本食品分析センター)		
	6	ソーラタッチ発売	※(内部統制報告書の提出義務化；3月～)	・・・ポスト京都(2013年以降)枠組決定
		・2008年度環境経営度調査	・温暖化対策推進法改正	
	8	※レギュラーレーヨン　⇒バイオマスマーク取得	※2009年度エネルギー使用量から把握	
	9	・”SRマスク”発売	→'10年度から報告義務（改正省エネ法）	
		・「上海スピンEXPO」及び		
		「台北テキスタイルフェア(TITAS)出展」		
	10	・「環境報告書」(2009年版)発行		
2010	2	アミセル発売	・改正省エネ法施行<4月>	COP16(メキシコ/カンクン)：
	4	・2009年度環境経営度調査	・・・・・企業単位報告制度開始	気候変動枠組条約会議
	5	・総合展示会「テキスタイルイノベーション2010」	・土壌汚染対策法　改正	・上海万博開催(5～10月)
		リ・テラ 発表(草本レーヨンなど・・・5種類)	・PRTR対象物質改正(1,2種合計：435→562へ)	
		・「SpinExpo　16th　Shanghai」出展	・東京都環境確保条例施行(C&T式排出量取引)	
	9	・「環境報告書」(2010年版)発行	・廃棄物処理法改正(処理業者の実地確認など)	COP10(名古屋)生物多様性条約締約国会議
2011	3	第8回ジャパンヤーンフェア(一宮)　出展	・3.11東日本大震災	
	4	・2010年度環境経営度調査		
	9	国際フロンティア産業メッセ2011　出展　(於：神戸)	・「東日本大震災により生じた災害廃棄物の	
		・「環境報告書」(2011年版)発行	処理に関する特別措置法」の制定	
	10	TITAS2011にて「サーモベール」発表		COP17　開催(南アフリカ・ダーバン)
	12	エコプロダクツ2011(東京ビッグサイト)　出展		COP/MOP7　開催（　〃　）
2012	2	第9回ジャパン・ヤーン・フェア　(一宮)出展		
	4	2012上海紡織服装展示会　出展		COP18　開催（カタール・ドーハ）
	6	・2011年度環境経営度調査⇒「環境報告書」発刊	改正水質汚濁防止法　施行	COP/MOP8　開催（　〃　）
	7	ビジネスマッチングフォーラム参加		
	10	TITAS2012　台北紡織展	改正環境教育等促進法　施行	
2013	2	第10回ジャパン・ヤーン・フェア　(一宮)出展		
	3	・『オーミケンシ・レーヨンの日』制定<3月4日>	「フロン回収・破壊法」	
	11	(以降、環境報告書は毎年度定例化)	⇒「フロン排出抑制法」へ改訂(6月)	COP19　開催（ポーランド・ワルシャワ）
2014	2	第11回ジャパン・ヤーン・フェア　(一宮)出展		
	3	・『オーミケンシ・レーヨンの日』>展示会開催		COP20　開催（ペルー・リマ）12月
2015	2	第12回ジャパン・ヤーン・フェア　(一宮)出展		
	3	・『オーミケンシ・レーヨンの日』>展示会開催	4月「フロン排出抑制法」施行	
		機能繊維フェア出展		
		(ノネナール消臭繊維'カキトニン')		
	11	第5回バイオマス製品普及推進功績賞　受賞　⇒	(折鶴レーヨンによるミラノ博イメージアップ貢献)	
	12	エコプロダクツ2015(東京ビッグサイト)　出展　⇒	(折鶴レーヨン製品、ミラノ博ストラップ)	COP21　開催（フランス・パリ）
2016	2	第13回ジャパン・ヤーン・フェア　(一宮)出展		
	3	・『オーミケンシ・レーヨンの日』>展示会開催		COP22　予定（モロッコ・マラケシュ）11月

【環境保全活動】

＜2015年度　環境負荷＞

オーミケンシにおける　”2015年度の環境負荷”の全体像は以下の通りです。

注：(　)は　前年度実績との差異　（＋：増加、▲：減少）

＜INPUTについて＞

① 電気量は、燃料調整費の影響で受電単価が安くなった為、大気放出発電を減少させ、買電量を増加させましたが、全体量としては減少しました。

② 水資源については、井戸1基が使用不可となり、減少傾向となりました。

＜外部委託処理廃棄物について＞

① 減産による品種切替えの増加に伴い、繊維屑、廃プラ、汚泥等の発生量が増加した状態が継続しています。

② ボイラー燃料のRPF比率上昇に伴い、フライアッシュ発生は増加しました。

＜エネルギー使用量　～電　気～＞

2015年度使用量

2015年度の目標と実績について

1）　2015年度電気の総使用量は36，958千kwhで目標比で0.5%の減少でした。

2）　また、前年比では1．7%減で、加古川工場設備更新による生産調整が主要因です。

各事業場別使用結果

①加古川：’15年実績は目標比　0.4%減、
前年比　1.6%減 となりました。

②本社及び東京事務所：’15年実績はほぼ前年並みで
推移しました。

【環境保全活動】

＜エネルギー使用量　～燃　料～＞

＜重　油＞　（空調用とディーゼル発電用）

2015年度の目標と実績について

1）　2015年度の燃料重油総使用量は、重油ボイラーの運転日数短縮の影響で前年比　1.8%減です。

2）　『石炭とRPF合計量』も,上記同様の理由により目標値を6.6%ほど下回りました。

尚　RPFの混合率は47.6%で、ほぼ最高設定目標値に達しています。

RPF
（Refuse Paper & Plastic Fuel）

＜A・C　重 油＞

＜石炭　及び　RPF＞　（汽力発電用）

★　加古川工場：　'15年度のA・C重油実績は971ＫＬで昨年比1.4%の減少となりました。

改正　省エネ法　（諸手続き）

（イ）　2010年度実績（2010/4～2011/3）を基に、企業全体総エネルギーが原油換算1500KL以上は特定事業者。
特定事業場分も合わせて実績を近畿経産局へ届出済み。

（ロ）　エネルギー管理統括者(A)・エネルギー管理企画推進者(B)の届出／**本社管轄の近畿経産局へ届出済み。**

＜エネルギー使用量　～ 水 ～＞

2015年度の目標と実績について

1） 2015年度の水総使用量は 5，133 千トンで、井戸1基が使用不可となった為、地下水投入量が減少しました。

2） 2009年度までは津、大垣、飯田 各休止工場のデータ推移を含んでいます。

☆☆☆ 事業場別使用結果 ☆☆☆

① 加古川工場 ：'15年度は前年実績比 2.5%減。　② 本 社 ： 節水運動の推進により減少傾向にあります。

【環境保全活動】

グリーン購入とは？

GPN Green Purchasing Network

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

なお、グリーン調達については,2013年度より
調達率100%となった為、記載を省略しております。

＜環境教育・資格取得状況＞

環境関連資格者について

（2016年7月現在）

種別			人数
エネルギー関連	電気施工管理技術者	第1級	1
	電気主任技術者	第3種	3
	エネルギー管理士		4
	ボイラータービン主任技術者	第2種	2
	冷凍機械作業責任者		1
	電気工事士		3
公害関連	公害防止管理者	水質第1種	5
		水質第4種	1
		大気第1種	2
		大気第3種	1
		騒音・振動	1
産廃関連	特別管理産業廃棄物管理責任者		1
	産業廃棄物	中間処理施設技術管理者	1
		最終処分技術管理者	2
	浄化槽	技術管理士	1
		管理士	1
環境社会検定（ECO検定）取得者			1

※ 今後とも教育の一環として取得指導をしていきます。
※ 新入社員には環境報告書を教材とした研修を実施しています。

種別			人数
消防関連	危険物取扱者	甲種	9
		乙種	82
		丙種	3
	消防設備士	甲種	4
		乙種	4
	防災管理者		1
	防火管理者		5
安全衛生関連	作業環境測定士		2
	衛生管理者		9
	毒物劇物取扱責任者		0
	ボイラー整備士		3
	ボイラー技士	特級	2
		1級	2
		2級	8
	酸素欠乏危険作業主任者（2種）		9
	化学設備関係圧力容器取扱作業主任者		1
	特定化学物質等作業主任者		19
	プレス機械作業主任者		0
	有機溶剤作業主任者		15
	乾燥設備作業主任者		2
		総計	211

【地球温暖化対策】

＜GHG（Green　House　Gas）排出量＞

２０１５年12月に開催された「COP21」において、京都議定書に代わる2020年以降の地球温暖化問題に取り組む為の「パリ協定」が採択されました。公表された直近（2014年度）の国内総排出量は、13億6500万トンで前年比▲3%、1990年比＋7.5%となりました。前年比で減少した要因として、電力消費量の減少や原単位の改善に伴う電力由来のCO2排出量が減少した事などが挙げられます。また、2005年比での減少は、オゾン層破壊物質からの代替に伴い、冷媒分野において、ハイドロフルオロカーボン類は増加したものの、エネルギー起源のCO2排出が減少した事が考えられます。

＜CO_2総排出量推移＞　　【加古川工場と2事務所の総排出量について】

（上表では電力係数は'04年度の10電力平均係数＝0.378kg-co_2を継続して使用しています。）

1）2015年度全社CO_2総排出量は、工場への節電要請に伴う自家発電増で60，446トンとなり、前年対比0.2%減でした。

2）2015度実績値は、1990年比で54.1%の減少となりました。

【加古川工場 安全大会】　2016年7月1日

2016年度の全国統一スローガン
『見えますか？　あなたのまわりの見えない危険
みんなで見つける　安全管理』

黒田工場長あいさつ

試験管理課　年間無災害表彰

3000日無災害達成の紡績日専職場

加古川工場では、職場別にグループ分けをして安全競争を行っています。安全活動を通じて、職場員相互の親睦と安全意識の高揚を図り、災害の無い明るい職場づくりを目指しています。

加古川工場スローガン
『焦る気持ちが　事故を呼ぶ
手間を惜しまず　安全優先』

【地球温暖化対策】

＜ゼロエミッションに向けて＞

① 産業廃棄物について

加古川工場の委託引取り量は4,950　t/年でした。品種切替え回数増加に伴い、繊維屑及び綿屑・汚泥の発生量が増加した状況が続いています。燃え殻、廃酸は一定量滞留するまで保管中です。

② 産廃処理業者の実態調査（年1回実施継続）

２０１６年度も例年通り『産廃処理業者の実態調査』を実施しました。
不法投棄防止と業者評価を目的に現地へ出向き、業者の現状調査を実施しました。

加古川工場では、”委託業者の近距離化”を　テーマとして新規開拓を継続的に進め、また、現状委託先調査に関しては例年通りチェックをしましたが　問題はありませんでした。

※今後とも、『最終処理をリサイクル製品化する業者』を選定しながら、ゼロエミッションを目指していきます。

＜メガ・ソーラーシステムの運用＞

当社は加古川工場において、再生可能エネルギーの固定買取制度を活用し、2013年より大規模太陽光発電設備（メガソーラー）を導入致しました。これまでも、様々な環境対策を実施し、レーヨンの製造工程においても環境負荷の低減に努めて参りましたが、今後とも、更なる環境にやさしいモノづくりを目指して参ります。　　＜出力1,100kw、年間発電量117万kwh＞

＜ＰＲＴＲ・ＭＳＤＳ関連＞

☆ PRTR = Pollutant Release and Transfer Register
★ MSDS = Material Safety Data Sheet

1） 第1種指定化学物質の排出量と移動量調査

・ 2009年10月施行のPRTRに関する法改正に伴って第1種指定化学物質が462物質に、特定第1種化学物質が15物質に(従前は12物質)また第2種指定化学物質が100物質(従前は81物質)に増えました。

・ 世界の動向は 2020年までに化学物質が人の健康や環境に与える悪影響を最小限に抑える方向に向かって、EUではREACH(新化学品規制)にて、日本では改正化審査法(化学物質審査規定法)にて推進されています。

＜加古川工場＞（以下報告は第1種指定化学物質は1t/年以上、特定第1種指定化学物質は0.5t/年以上の法令に基づいています）

第1種指定化学物質届出書より（トン/年）

物質名	号番号	排出先	排出量 14年度	排出量 15年度	移動先	移動量 14年度	移動量 15年度
亜鉛の水溶性化合物	1	公共水域	5.2	3.6	事業所外	0.0	0.0
		事業所内	0.0	0.0			
二硫化炭素	318	大　気	100.0	110.0		0.0	0.0

PRTR指定の354物質取扱総量より(トン／年)

	総取扱量	総排出量	総移動量
2014年実績	1,199	105.2	0.0
2015年目標	1,140	104.9	0.0
2015年実績	1,174	113.6	0.0
2016年目標	1,115	103.4	0.0

※　事業所外への移動量は2012年度よりゼロとなりました。

2） 大気・水質への影響調査

加古川工場		実績値	判定	管理基準値
NO_X	2013年実績	65.1	＜	170 (t/年)
	2014年実績	67.2		
	2015年目標	65.0		
	2015年実績	62.1		
	2016年目標	65.0		
SO_X	2013年実績	58.7	＜	173 (t/年)
	2014年実績	60.0		
	2015年目標	60.0		
	2015年実績	70.7		
	2016年目標	60.0		
COD	2013年実績	97.4	＜	153 (t/年)
	2014年実績	101.2		
	2015年目標	95.0		
	2015年実績	99.0		
	2016年目標	95.0		

＜ 評　価 ＞

① 大気関係： ボイラー負荷を下げた為、Nox排出量は減少し、Soxについては、脱硫用石灰石の使用減に伴い減少した。

② 水質関係： 減産による配管、タンクのブロー回数の増加により工場排水負荷も増加した。

以上　全指標共に管理基準値を厳守し、問題ありません。

3） PCB(特定有害産業廃棄物)の保有量と管理履歴

（トランスおよびコンデンサー）

（ ）は使用中の台数で、かつ内数です

	総　計
2004年度 （2005/3末）	201(4)
2013年度 （2014/3末	469
2014年度 （2015/3末）	469
2015年度 （2016/3末）	469

① 大垣工場・飯田工場の休止により、加古川工場へ移動（2009年10月届出完了）

② アパレル子会社から新規に加古川工場へコンデンサー2台、及びトランス4台を移動。（2010年4月届出完了）

③ 現有469台内訳…コンデンサ(高圧45、低圧414)、トランス(10)。

④ その他 ・・・上表には小型安定器等微量入りは含んでおりません。また、紛失はありません。

【PCB使用機器の委託処理について】
2016年(平成二十八年)までの適正処理受付申請期限を踏まえ、JESCO大阪事業所にて依頼予定。
尚、最終処分期限が2008年から2039年に延長されました。

PCB保管庫

【エコ・プロダクツの推進】

＜「RAYON　FEATURES」　～レーヨンの可能性を追求して～ ＞

リ・テラは、草本原料を使ったまったく新しい発想の素材です。元来、木本であった原料を草本へとシフトする事で、地球環境と私たちの暮らしにさまざまなメリットが生まれてきます。

＜ヘルス＆ビューティー アイテム＞

enery
NATURAL ENERGY & RECOVERY
エナリー化粧品

☆「エナリー」は女性たちの『ライフスタイル向上計画』を提案します！

年齢を重ねたデリケートな肌を
健やかでみずみずしく保つために!

肌へのやさしさを追求し誕生したエナリー化粧品は、肌タイプや年齢を問わず、多くの女性から愛されるスキンケアブランドとして使用感にこだわったものづくりを続けています。

【オーミケンシ・レーヨンの日】

本年も、オーミケンシ・レーヨンの日『３月４日』に、非繊維事業を中心とした展示会を開催致しました。今回は、セルロース技術を活用した新たな「食」の分野で健康に貢献する『可食セルロース』の世界と事業計画、並びにソリューション事業の展開をご紹介し、多くの皆様から関心を頂きました。

記者発表・乙村社長挨拶

折り鶴レーヨン　商品展開

マスコットのオーミンくんとレーヨンちゃん

期待の掛かる可食セルロース事業

バラエティーに富んだ園芸事業

可食セルロース
「ぷるんちゃん」試食会

ソリューション事業の拡大

事業説明をする
木下ハウジング・緑化事業部長

【エコ・プロダクツの推進】

広島市では、多くの人々と平和への思いを共有するために、世界中から広島に届けられる、年間1000万羽にものぼる折り鶴の配布をはじめました。
オーミケンシではこれらの折り鶴から再生されたパルプを繊維化し、折り鶴に託された願いを多くの人に届けられるよう取り組んでいます。

＜バイオマス・アイテム＞

緊急災害
備蓄用薪

商品名：
「琥珀」

高機能薪 “燻薪” とは？

バイオマス燃料の開発に取り組んだ結果、乾燥後に木酢液に含浸させ、燻煙することにより、扱いやすく、火が付きやすく、また、長期保存が可能で高カロリーな燃料の開発に成功しました。

「琥珀」は
グリーン購入法
適合商品です。

GPN Green Purchasing Network

オーミケンシ株式会社

＜会社概要＞

設立年月日	大正6年(1917年) 8月13日
資本金	32億500万円 （2016年8月20日現在）
本社	〒541－8541 大阪市中央区瓦町2－5－14 TEL(06)6205－7300 ／ FAX(06)6205－7313 E-mail : info@omikenshi.co.jp URL : http://www.omikenshi.co.jp
代表取締役社長	乙 村 誠
従業員数	626人 （2016年3月末グループ全体）
主要事業内容	綿糸・レーヨン綿・レーヨン糸・各種合繊糸・混紡糸の製造・加工・販売 各種ニット、織物並びに不織布の製造・加工及び販売 各種タオル、寝装製品等の製造・加工及び販売 化粧品の製造・加工及び販売 ／ 住宅関連、ソフト開発、その他

東京販売部

大阪本社

＜本社・営業所＞

■ 本　　社　〒541－8541　大阪市中央区瓦町2－5－14（本町オーミビル）
（代）TEL （06)6205－7300
FAX （06)6205－7313
E－mail : info@omikenshi.co.jp
URL : http://www.omikenshi.cp.jp

■ 東京 事務所
管理部門　〒104－0061　東京都中央区銀座3－7－3　（銀座オーミビル）
TEL （03)3567－8551
FAX （03)3567－8574

営業部門　〒104－0004　東京都中央区東日本橋1－1－7
野村不動産東日本橋ビル　5階
TEL （03)5550－3831
FAX （03)5550－3899

＜工　場＞

■ 加古川工場　〒675－0023
兵庫県加古川市尾上町池田850　TEL:(079)422－3891
（レーヨン綿・糸の製造 ／ 研究所 ／ 園芸センター）

上海

ブラジル
（レンソイス）

加古川工場

＜海　外＞

■ 近絹(上海)商貿有限公司
（中華人民共和国）

＜ 繊維原料・繊維製品の販売 ＞
〒200051　上海市長寧区仙霞路317号
遠東国際広場 B座 2216室

■ オーミ・ド・ブラジルテキスタイル株式会社
（ブラジル連邦共和国）

＜ 綿糸製造・販売 ＞
（本社工場）サンパウロ州レンソイス・パウリスタ市
（営 業 所）ブラジル・サンパウロ州サンパウロ市

＜お問合せ先＞

オーミケンシ株式会社

〒541－8541 大阪市中央区瓦町２－５－１４　本町オーミビル

環境対策グループ

☎ 06-6205-7321

Fax 06-6205-7157